

大間原子力発電所に関する地質調査の追加実施について

平成26年3月6日
電源開発株式会社

当社は、今般、大間原子力発電所に関する追加の地質調査を実施することとしましたので、お知らせいたします。

この調査は、最新の科学的・技術的知見を踏まえ、大間原子力発電所の敷地及び敷地付近の地質・地質構造に関するより一層のデータの充実を図る目的で実施するものです。

本調査によって得られるデータについては、これまでに得られた地質調査のデータとあわせて総合的な評価・取りまとめを行います。

当社は、大間原子力発電所の耐震・耐津波安全性に関し、今後も情報を収集するとともに、必要に応じて最新の技術・手法を用いた調査等によるデータの充実を図り、信頼性の一層の向上に努めてまいります。

以上

【添付資料】

追加地質調査の概要について

追加地質調査の概要について

1. 調査の目的

従来から敷地の詳細なデータを把握するため地質調査を実施してきましたが、データの充実を図るため、調査範囲を敷地付近にも広げ、調査を行います。

具体的には、地質・地質構造を詳細に把握するため、重力探査、弾性波探査、ボーリング調査、露頭調査等を実施します。

2. 調査の概要

調査の項目・概要及び調査範囲は、下表及び図1の通りです。

今後、今回実施する地質調査によって得られる調査結果もあわせて、大間原子力発電所の耐震・耐津波安全性に係わる総合的な評価・取り纏めを行います。

区分	項目	調査の概要
敷地及び敷地付近地質調査	重力探査	● 地表で重力値を測定（図2）
	弾性波探査	● 油圧インパクトで発振した弾性波を地表に設置した受振器で受振（図3）
	ボーリング調査	● ボーリングによる地質試料採取及びボーリング孔を利用した調査（図4）
	露頭調査	● 法面や地表面において、表土を除去し地層を露出させた後、写真撮影、スケッチ等を実施（図5）

3. 調査の時期

調査は、平成26年4月以降、準備が整い次第、順次開始します。

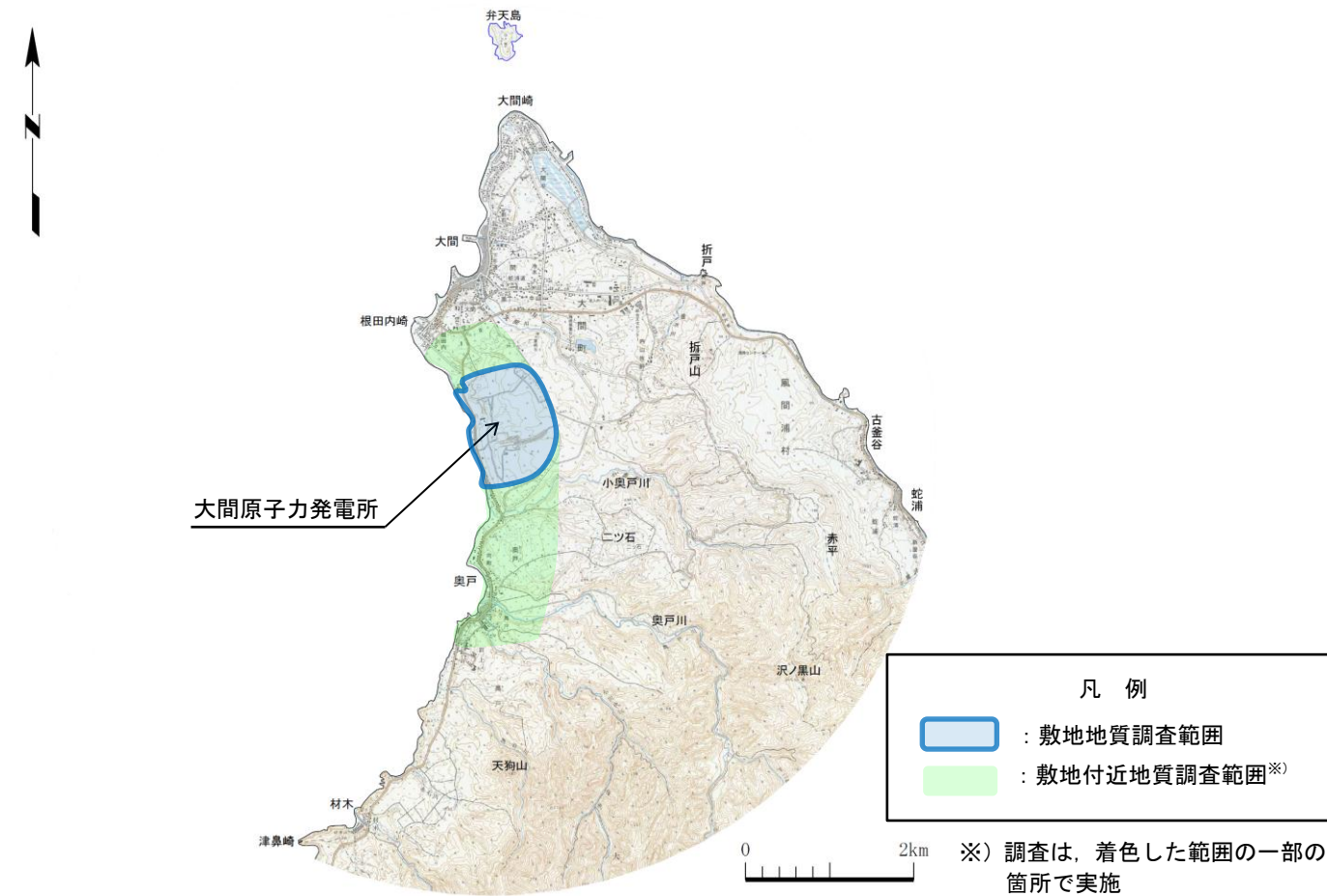


図1 地質調査範囲



図2 重力探査作業状況（事例）



図3 弾性波探査に使用する油圧インパクト（事例）



図4 ボーリング調査作業状況（事例）



図5 露頭調査作業状況（事例）